

少年剣士が激突!

少年剣道練成大会

大東剣友会(佐藤甲子夫会長)が主催する第18回大東地域少年剣道練成大会は3月4日、大東体育館で行われました。剣道を通して心身と気力を養い、地域の剣道団体同士の交流を目的に、毎年この時期に催されているものです。

今年は地域の5団体から4年生11人、5年生3人、6年生15人が参加し、団体戦と個人戦を行いました。選手たちは日ごろの鍛錬の成果を出そうと、「ヤー」「オー」と掛け声を上げながらぶつかり合い、真剣勝負を繰り広げていました。



激しくぶつかり合う選手たち

from
DAITO
大東



「作法がきれいね」とほめられました

お行儀よくできました

門崎保育園ひなまつり茶会

茶道を通して礼儀作法を身につけようと、川崎、門崎両保育園の年長組園児は10月から3月までの月1回、お茶のけいこを行っています。茶道教室川崎会(裏千家瀬上宗祐社中・会員5人)が、ボランティアで指導しているものです。

その締めくくりとして、両保育園でひなまつりお茶会が催されました。そのうち門崎保育園(須藤俊子園長・園児26人)では、3月1日、園児たちが浴衣姿でお茶をいただきました。普段は元気いっぱいの子どもたちですが、少しおすまし顔で立ち居振る舞いに気を配る様子は、とても愛らしく、また頼もしく見えました。

from
KAWASAKI
川崎

伝統の舞、力強く披露

一関民俗芸能祭

一関民俗芸能団体協議会が主催する第22回一関民俗芸能祭は3月11日、一関文化センターで行われました。一関地域内の神楽団体と、友情出演した川崎地域の布佐神楽保存会の10団体が出演。鶏翔秋の会の「鶏舞」、一関夫婦神楽の「牛若丸秀衡公対面の場」など、得意の演目が披露され、約600人の神楽愛好家を沸かせました。

そのうち、「屋島合戦」を演じた古内神楽保存会は、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の補助を受けて衣装や面、音響設備などを新調。真新しい衣装を身にまとい、義経の軍勢が屋島に築城中の平家を背後から攻める場面を勇壮に演じました。



新調した衣装や面をまとい「屋島合戦」を演じた古内神楽保存会

from
ICHIKAWA
一関



整備されたベンチで遊ぶ子どもたち

多目的グラウンドを整備

折壁地区自治会連絡会

折壁地区自治会連絡会(千葉鐵男会長・688世帯)は、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、室根ふるさとセンターの敷地内に休憩所、ベンチ、物置、サイクルポート、簡易トイレなどを備えた多目的グラウンドを整備しました。

室根地域内の6自治会で構成する同会は、これまでバレーボール、ゲートボールなど各種大会参加に当たって練習場所の確保に困っていました。今後は、地区内の子どもから高齢者までの交流の場、各種スポーツの練習や大会の場として利用されます。

from
MURONE
室根

真澄を知り地域を再発見

硯と酒と鐘の鳴る里づくり事業成果発表会

田河津地区の夏山横沢史跡保存会(高屋康雄会長)は2月20日、夏山横沢集会所で「硯と酒と鐘の鳴る里づくり事業」成果発表会を行いました。

この事業は、市の地域おこし事業を導入し、江戸後期の紀行家・菅江真澄が歩いた田河津夏山・横沢地区の足跡をたどり、地域おこしにつなげようというもの。真澄研究家の佐藤英男さん=奥州市=が講演を行ったほか、実践報告では紀行路を草刈りし案内標柱を設置したことや「菅江真澄紀行記」の発刊などが発表されました。

地域のほぼ全世帯が出席。220年前の真澄に思いをはせながら手作り会食で地域おこし談議に花を咲かせました。



講演する佐藤英男さん

from
BIGASHIYAMA
東山

まちのトピックス

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in
Ichinoseki

鮮やかな花を楽しむ

ペゴニア館無料開放デー

花と泉の公園「ペゴニア館」は2月24・25の両日、市民に無料で開放されました。

先着30人にペゴニアの花鉢がプレゼントされるなどの特典に、開館前から多くの市民が詰めかけ、入園者は2日間で1600人を超えました。休日とあって家族連れも多く、「ウーきれいだー!」と天井まで連なる花を見上げて歓声を上げる子どもたち、ペゴニアの花に囲まれ、喫茶コーナーでコーヒーを飲みながらゆったりと鑑賞する人など、それぞれに花を楽しんでいました。同時開催のミニ蘭展も好評で、訪れた人は「花の少ない冬に楽しめて良いですね」と豪華なペゴニアと蘭の花に見入っていました。

from
HANAIZUMI
花泉

大輪のペゴニアに思わずうっとり



上 中高生など多くの人が集まった国際若人の集い
左下 講師を務めたJ. A. T. D. にしゃんたさん

from
SENMAYA
千厩

広がれ国際交流の輪

「みんな共に地球家族」

千厩町国際友好協会主催の「未来を築く国際若人の集い」は2月25日、パレス・スズキ・マリアージュで催され、市民や中高生、中国やフィリピン出身者など約100人が参加し、講演会や交流会で国際理解を深めました。

講演会は、山口県立大学助教授のJ. A. T. D. にしゃんたさん(スリランカ出身)が、「多文化共生“新”時代みんな地球家族」を演題に多民族、人権や日本再発見などをキーワードに関西弁で熱弁。参加者は、中高生が海外派遣に準備したプレゼンテーションやフィリピン舞踊などで交流を深めました。